



写真是10尺デッキ・フルジャストロー・2.0トン積。“S パッケージ”装着車。ボディカラーはホワイト<058>。 車種番号 1 ■写真是合成です。

## トラックづくりのすべてにわたって、環境への配慮を徹底。

### ■ トヨタがめざす「トータルクリーン」

トヨタは「トータルクリーン」を基本理念に、環境に配慮したクルマづくりを進めています。生産から廃棄にいたるトータルライフの視点により、環境への取り組みのひとつひとつをすべての過程で連携。さまざまな環境目標をバランスを取りながら達成することで、総合的に環境性能の向上を図り、クリーンなクルマづくりをめざします。

### ■ 地球温暖化対策の実施

- 温室効果ガスであるCO<sub>2</sub>排出量の低減をめざして、軽量・高効率なエンジンを搭載。また、ハイブリッドシステムの採用などにより、優れた低燃費を達成しています。
- エアコンの冷媒充填量を低減しています。

### ■ 環境負荷物質の削減

鉛、水銀、カドミウム、六価クロムを削減し、業界目標を達成しています。

### ■ VOC<sup>※1</sup>の低減を推進しています。

内装部品の素材、加工法、接着剤の見直しにより、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエンなどの揮発性有機化合物(VOC)の発生量を抑制。車室内の臭いや刺激臭を軽減するとともに、厚生労働省が定めている「室内濃度指針値」を下回るレベルとし、業界自主目標を達成しています。

### ■ LCA(ライフサイクルアセスメント)<sup>※2</sup>の実施

走行段階だけでなく、トラックの生産・使用から最終的に廃棄するまでの全ライフサイクルで、環境への負荷を把握するのがLCA(ライフサイクルアセスメント)。トヨタでは、その観点から、排出するCO<sub>2</sub>や他の大気汚染物質の総量を従来型車に比べて低減しています。



### ■ 都市環境のクリーン化に配慮

ディーゼル車は新高性能触媒DPR・DPR-IIなどの採用により、排出ガスのクリーン化を推進。その結果、「平成22年(ポスト新長期)排出ガス規制」「平成28年(ポスト・ポスト新長期)排出ガス規制」に適合しています。

### ■ リサイクル性の向上へ

インストルメントパネルやメータークラスター、グローブボックスドアなど内装部品にリサイクル性に優れた樹脂TSOP<sup>※4</sup>を使用しています。

※1. VOC: Volatile Organic Compounds  
 ※2. LCA: Life Cycle Assessment. 資源採取～廃棄・リサイクルまでの各段階で、クルマが環境に与える要因を定量化し、総合評価する手法で、ISO14040シリーズで国際標準化されています。  
 ※3. Eco-VAS(エコバス): Eco-Vehicle Assessment System. 車両開発責任者が企画段階で生産、使用、廃棄にいたるLCA(ライフサイクルアセスメント)の考え方を踏まえた環境目標値を設定。全開発プロセスを通して目標達成状況をフォローして、確実な達成を図る総合的な環境評価システムです。 ※4. TSOP: Toyota Super Olefin Polymer

### トヨタ トヨエース環境仕様

車両仕様	車両		ディーゼル車 DPR搭載車								
	エンジン	型式	N04C-UN			N04C-UP					
総排気量(L)		4.009									
使用燃料		軽油									
駆動装置	駆動方式	2WD		4WD	2WD		4WD				
CO <sub>2</sub> 排出量(g/km)	車両総重量3.5トン以下	5MT	249	235	249	249	249				
	最大積載量7.5トン以下	6AT	269	254	—	269	—				
環境情報	適合規制	平成22年(ポスト新長期)排出ガス規制[規制値に対しNOx▲10%かつPM▲10%]									
	JE05モード	NOx	0.63								
	認定レベル	NMHC	0.17								
	g/kWh	P M	0.009								
環境負荷物質削減	車外騒音(加速／定常／近接)(dB)	79(4WDは80)/76/95									
	冷媒の種類HFC-134a/使用量(g)	400	550	550(サブコンデンサー付650)	550						
	鉛	自工会2006年自主目標達成(1996年時点の1/10以下※5)									
	水銀	自工会自主目標達成(2005年1月以降使用禁止※6)									
車室内VOC	カドミウム	自工会自主目標達成(2007年1月以降使用禁止)									
	六価クロム	自工会自主目標達成(2008年1月以降使用禁止)									
	リサイクル関係	自工会自主目標達成									
リサイクル関係	リサイクルしやすい材料(TSOP)を使用した部品	インストルメントパネル、メータークラスター、グローブボックスドア、フロアクンソール、クオータリームボードなど									
	樹脂、ゴム部品への材料表示	あり									

※5.1996年乗用車の業界平均1,850g(バッテリーを除く)。 ※6.交通安全の観点で使用する部品(ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージランプ、室内蛍光灯)を除く。

■ワイドキャブ環境仕様

車両仕様 環境情報	車両		ディーゼル車
	DPR-II搭載車		
	エンジン	型式	N04C-VU
	総排気量 (L)	4.009	
	使用燃料	軽油	
	駆動装置	駆動方式	2WD
		変速機	6MT
	CO <sub>2</sub> 排出量(g/km)		354
	排出ガス	適合規制	平成28年(ポスト・ポスト新長期)排出ガス規制※1
JE05モード 認定レベル g/kWh	NOx	0.4	
	NMHC	0.17	
	P M	0.010	
	車外騒音(加速／定常／近接)(dB)		77／—／85
冷媒の種類 HFC-134a/使用量(g)	鉛	自工会2006年自主目標達成(1996年時点の1/10以下※2)	
	水銀	自工会自主目標達成(2005年1月以降使用禁止※3)	
	カドミウム	自工会自主目標達成(2007年1月以降使用禁止)	
	六価クロム	自工会自主目標達成(2008年1月以降使用禁止)	
リサイクル 関係	車室内VOC	自工会自主目標達成	
	リサイクルしやすい 材料(TSOP)を使用した部品	インストルメントパネル、メータークラスター、 グローブボックスドア、フロアコンソール、 クォータリムボードなど	
	樹脂、ゴム部品への材料表示	あり	

※1.WHDCモード ※2.1996年乗用車の業界平均1,850g(バッテリーを除く)。 ※3.交通安全の観点で使用する部品(ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージランプ、室内蛍光灯)を除く。